

## 成績評価について～ 常磐短期大学「履修案内」掲載事項抜粋

### ○ 成績評価基準

- 成績の評価は、定期試験の成績によるほか、平素の授業の受講態度、授業期間中の試験成績、レポート、その他によって行われます。科目の講義要綱（シラバス）に記載されているので確認してください。
- 授業科目の成績は次ページの基準に従い、S、A、B、C（以上合格）およびD（不合格）の5段階で評価されます。評定S、A、B、Cには所定の単位が与えられますが、評定Dには単位が与えられません。
- 受験資格喪失者および試験欠席者などについては、原則として不合格となり、単位は与えられません。
- 一度合格点を得た科目は、いかなる事情があっても再度単位を修得することはできません。

#### 【成績の評価】

評価		GP	区分
評定	評点		
S	100～90点	4	合格
A	89～80点	3	
B	79～70点	2	
C	69～60点	1	
D	59～ 0点	0	不合格
F	試験欠席	0	欠試
X	受験資格喪失	0	喪失
W	履修取消	対象外	評価外
\$	単位認定	対象外	合格
履	履修中	対象外	履修中

### ○ GPA制度

#### 1) GPA (Grade Point Average)

本学では、よりきめ細かな履修指導を行うため GPA 制度を導入しています。GPA とは、履修した各科目の成績評価に対してそれぞれの GP (Grade Point) を定め、当該期間の成績の平均値を示す成績評価の表示方法の一つです。GPA は、不合格科目も含め、セメスターごと、年度ごとの値が計算されるので、学生が自分の学修の履歴を把握することができ、学習を促進するのに効果的な成績評価方法です。米国をはじめ海外の多くの大学が採用しており、留学や国内外の大学院への進学を希望する場合に、提出が求められることがあります。

#### 2) 総 GP (GPT) ・GPA・評点平均の算出方法

##### ① 総GP (GPT)

総GP (GPT : Grade Point Total) とは、履修登録した科目の5段階評価 (S、A、B、C、D) を4から0までの点数 (GP : Grade Point) に置き換え、それぞれ履修科目の単位数を掛けて総和した値です。

$$\text{総GP (GPT)} = (\text{「Sの修得単位数」} \times 4) + (\text{「Aの修得単位数」} \times 3) + (\text{「Bの修得単位数」} \times 2) + (\text{「Cの修得単位数」} \times 1)$$

##### ② GPA

GPAは、総GP (GPT) を履修登録単位数の合計で割って算出します。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{「Sの修得単位数」} \times 4) + (\text{「Aの修得単位数」} \times 3) + (\text{「Bの修得単位数」} \times 2) + (\text{「Cの修得単位数」} \times 1)}{\text{「履修登録した科目の単位数」の総和 (D・F・Xを含む)}}$$

\* 小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までの数値で表示

### ③ 評点平均

評点平均は、成績が確定した科目ごとの評点の総和を履修登録した科目数（D・F・Xを含む）で割って算出します。

$$\text{評点平均} = \frac{\text{評点の合計}}{\text{履修登録した科目数 (D・F・Xを含む)}}$$

\* 小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までの数値で表示

### 3) GPA を算出する対象科目

#### ① GPA 算出対象科目

成績評価が、S・A・B・C・D・F・Xと表示される科目

#### ② GPA 算出対象外科目

履修取消を申請した科目（履修取消「W」と表示される科目）

単位認定科目（実用英語技能検定の取得等による単位認定「\$」と表示される科目）

### 4) GPA 値の表示形式

成績通知書には、セメスター毎、年度毎、累積の総 GP（GPT）、GPA および評点平均を表示します。

成績証明書には、累積の GPA を表示します。

\* 通年科目については、秋セメスター科目に含めて総 GP（GPT）、GPA および評点平均を計算して表示します。